事業所名　グループホーム　ケアネット千寿　小立野

目標達成計画

作成日： R8年4月22日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	5	何が身体拘束になるのか、勉強会は定期的に行っている。身体拘束はしていないが、ユニットの玄関は外に出てしまう方がおられるため、施錠を行っているのが現状です。	身体拘束という人権侵害を解消し、その人らしい自由な生活を守って差し上げる。 入居者が感じているであろう閉じ込められているという不安感を排除し、精神的な落ち着きを促す。	施設全体で「施錠は身体拘束」であるとの共通認識のもと、利用者が住みやすい施設をめざして再構築を図る。	12ヵ月
2	6	感染症も治まり、運営推進会議に利用者家族・利用者・地域の方たちと一緒に問題点について話し合う目標があったが、中途感染症があり、6月で途切れてしまった。	グループホームの運営を利用者様や、その家族様、地域の方達が気軽に立ち寄ったり、気軽に意見を話しやすい、開かれたグループホームを目指す。	運営推進会議に地域の方達や家族様、ご本人に参加して頂き、地域の方の意見や家族様の意見を運営に取り入れて、開かれたグループホームの運営を目指したい。	12ヵ月
3	10	ケアプランが個人記録に反映されていない。	ケアプランの内容と個人記録の内容が連動しており計画に基づいたケアが行われていることがわかる。 ケアプランの目標が達成できているかという視点をもち具体的な事実の記録ができる。	ケアプラン書式の見直しをする。 ケアプランの内容をスタッフ間で共有し、記録を「評価できる」よう周知を図る。	12ヵ月
4					

注）項目の欄については、自己評価項目の№.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。